

第7回「東大和ヒトみらいトーク」の報告

1 開催日時

令和8年5月16日（土曜日）午前10時から11時50分まで

2 開催場所

向原市民センター 集会室1・2

3 参加者

定員20人、事前申込10人、当日参加者9人

（当日参加者の地域別内訳）

桜が丘2人、清水1人、中央1人、南街2人、向原3人

（当日参加者の年代別内訳）

年代	人数	割合	年代	人数	割合
19歳以下	0	0.0%	50～59歳	1	11.1%
20～29歳	0	0.0%	60～64歳	0	0.0%
30～39歳	2	22.2%	65～74歳	5	55.6%
40～49歳	0	0.0%	75歳以上	1	11.1%

4 進め方

(1) 座席の配置と名札の着用

参加者と市長が車座になってお互いの顔が見えるようにし、名札を着用して名前を呼び合いながら、フラットな状況で対話ができるようにした。

(2) 副市長及び教育長の参加

市長のほかに、副市長、教育長も参加することで、参加者との対話の内容を市の理事者がリアルタイムに正確に共有できるようにした。

(3) 質問・意見等の可視化

参加者からの質問・意見などを共に整理しながら対話を進めていくため、発言内容を付せんにて記入してホワイトボードに貼り出し、テーマごとにまとめた。

5 当日の対話内容

参加者からのご意見・ご質問及び市長からの回答については、以下のとおり（記載は発言順）。

なお、内容は要旨とし、一部表現を簡略している。

対話内容の主なテーマ

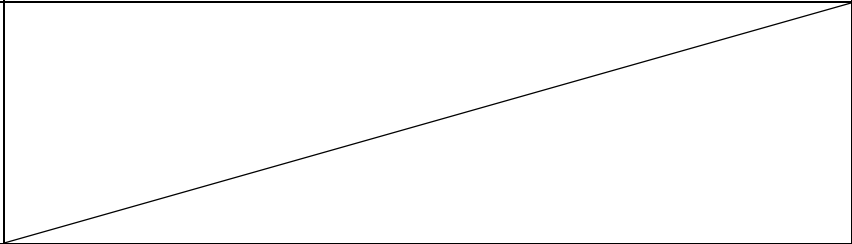
- (1) 子ども・子育て・教育・文化 (2) 健康・医療・高齢者・福祉 (3) 都市づくり・災害対策・交通
- (4) 行財政運営・デジタル化 (5) その他

テーマ	参加者の質問・意見等（要旨）	市長の回答（要旨）
(1) 子ども・子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の本を並ばずに返却できる返却資料専用BOXをカウンターに設置するよう要望した。清原図書館と桜が丘図書館には、見やすいところに置いてあるが、中央図書館はカウンターの端に置いてあり、わかりづらい。 ・返却資料専用BOXに返却しても、図書館の職員が返却の処理をするのが遅い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の本の返却方法の工夫だけでなく、職員の対応について、今後指導していく。

テーマ	参加者の質問・意見等（要旨）	市長の回答（要旨）
(2) 健康・医療・高齢者・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・向原の都営住宅（シルバーピア）の管理人の言動が悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・頂いたご意見について、確認する。
(3) 都市づくり・災害対策・交通	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の知識や備えについて、一人暮らしの高齢の方に周知を徹底したい。周囲の方が支援する体制づくりが必要である。 ・避難所の設営訓練について、職員だけでなく、誰でも動けるようにマニュアルを標準化するのがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の備えについて、しっかり情報発信していきたい。 ・総合防災訓練などについては、形式的な内容をやめ、リアルな行動に結びつくように実践的なものになっている。
(1) 子ども・子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・国立音楽大学や武蔵野美術大学が近隣にあるため、協力関係を築き、イベント実施できるとよい。例えば、ハミングホールやリビングテラスにおいて、美術作品を展示するのはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、第五中学校の美術の授業で、武蔵野美術大学の先生が授業を実施している。そうした繋がりなどを生かし、芸術のイベントができるとよいと思う。また、市民の中には、芸術に造詣の深い方がいると聞いたことがあるので、そういう方の経験談等を話してもらう場を設けることもよいと思う。
(1) 子ども・子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中の方、これから子どもを育てようと考えている方が、子育て中の方と交流できるイベントがあれば、子育てのイメージができてよい。また、妊娠中の方にとっては、産後に相談できるような人を見つけることができ、心強くもなる。また、子どもを産みたいと思う方が増えるのではないか。 ・幼稚園にも保育園にも入っていない子から3歳ぐらいの子たちが交流するイベントがあり、友人へ声をかけて一緒に参加した。友人は、そのようなイベントを知らなかったとのことである。市はLINEなどを活用し、ぜひ積極的に情報発信してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を必要な方に届ける仕組みが必要である。 ・イベントが充実するよう工夫していきたい。

テーマ	参加者の質問・意見等（要旨）	市長の回答（要旨）
(1) 子ども・子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・人材がどの程度育つか、行政サービスのレベルを決める。桜が丘図書館は指定管理者制度を導入して、接遇が改善され、また開館時間が延長されたため、市民の満足度は高まっていると思う。事業者の様々なノウハウを活用してもらえれば、住民サービスの満足度が向上することになる。 ・ただし、企業の会計システムは市とは異なるため、市の職員が理解し、指導・監督できるようになることを期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公約でも職員の力を発揮してもらうことを掲げておるとともに、経営資源のなかでは「ヒト」（職員）が一番重要だと考えている。よって、市長就任当初から、人材育成に力を入れている。また、週に1回程度、職員に向けて、メッセージの発信なども行っている。
(1) 子ども・子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・学童の対応について、納得できないことがあった。業務を委託していると思うが、業者がどのような方法で業務を実施しているのかについて確認してほしい。 ・学童の利用者だけでなく、学童で働いている人にもアンケートを取ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学童は、令和8年4月から、委託先の事業者が新しくなった。そのため、担当課長が訪問するなどし、状況把握等に努めているところである。また、第三者に評価してもらうシステムも導入している。よりよい事業展開ができるよう、努めていく【教育長】 ・利用者のほか、働いている人へのアンケートも実施すべきだと思う。また、事業者変更後、間もないことから、落ち着いた時期に私自身が現場を視察して回る予定である。【市長】
(1) 子ども・子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・孫がゲームばかりやっており、言葉使いも乱暴になったと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルが進む中、1人1台端末を配布しているが、その一方で、文字を書くことや五感を使った体験活動等のアナログも大事にしなければならないと思う。ただ、市、学校だけでなく、家庭の協力も必要であることをご理解いただきたい。【教育長】

テーマ	参加者の質問・意見等（要旨）	市長の回答（要旨）
(2) 健康・医療・高齢者・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県武豊町が、介護予防施策として通いの場（サロン）の政策を進めており、介護認定率が下がったと聞いた。東大和市も学ぶところがあるのではないかと思います。ぜひ検討してほしい。 ・千葉大において、サロンに参加していない人は、参加している人と比べて、介護認定において15～20%要介護になる確率が高いというデータもある。そういったデータを活用してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の取組について、現状、効果検証できていない。そのため、データ分析などを行う必要があると改めて感じている。 ・市のサロン活動について、情報を必要な人に届けられるよう、周知を強化することが大切である。
(4) 行財政運営・デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ・市の職員が、自分の担当業務に関心を持って取り組んでいないように感じることもある。 ・職員が東大和市全体のことを研究するのが難しければ、職員ごとに担当地域を限定し、研究するのはどうか。そうすれば、職員全体の質があがるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の職員に必要な資質は「東大和市を好きであること」だと思う。『どこでも良いから市役所の職員として働きたい』というのではなく『東大和市の市役所で働きたい』という気持ちで仕事に向き合ってもらいたい。そして何より東大和市を好きになり興味を持つべきである。そうすれば、東大和市民を好きになり、「東大和市を良くしていこう、周りの市に負けないぞ」という気持ちになると思う。このことを職員に伝え、徹底しているところである。
(4) 行財政運営・デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設再配置計画の策定について、進捗を知りたい。 ・公共施設再配置計画の実現には、数十年かかるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を統廃合し、「みんなの学校」を各地域に整備していきたいと考えている。児童・生徒だけでなく、地域の方も学校を使えるようにし、セキュリティを工夫しながら地域に開放する。統廃合によって、一見すると施設が少なくなるように感じるかもしれないが、各地域に核となる施設ができるイメージである。大きな方向性は公共施設再配置計画の素案のとおりだが、市民の皆さんからこういうものがあればよいといったご意見をいただきたい。

テーマ	参加者の質問・意見等（要旨）	市長の回答（要旨）
		<ul style="list-style-type: none"> ・市の財政面と建築業界の人手不足という課題がある中で、計画的に建設する必要があるため、40年かかる見込みである。しかし、世界情勢の影響で物価が上がっていることを考えると、できるだけ早く着工する方が良いと思っている。その場合は、できるだけ全市民に還元できる施設から優先して着工したいと考えている。
(2) 健康・医療・高齢者・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の方でも元気な方が多いため、シルバー人材センターだけでなく、市内で高齢者を雇用する取組を検討してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施策については、今後、様々な観点から検討していきたい。 ・様々なボランティア活動を通してポイントを貯め、そのポイントを地域で使うことができるような事業を検討したい。
(4) 行財政運営・デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ・10年以上前と比較して、職員のスキルが下がっているように感じる。市民からのクレームもあると思うが、スキルが向上すればうまく対応できるのではないかと思う。東大和市は、子どもも高齢者も、誰一人取りこぼしがないよう対応やケアをしてほしい。 	
(1) 子ども・子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後、子どもがゲームばかりしている。また、外で駄菓子を食べたら、ゴミを拾わずに帰ってしまう。 ・子どもの中には、1人でしゃがみこんでいる子や、午前10時～11時にランドセルを背負って登校している子もおり心配である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で子どもたちに会うと、よく挨拶してくれる。元気に挨拶してくれる子も、心配な子もいるが、できる限り子どもたち一人一人が元気に毎日を送れるように努めていきたい。【市長】 ・「この東大和市で、自分は教育を受けてよかったな」、また「東大和市ですずっと将来過ごしていきたい」と思える教育をしていきたいと思う。しかし、それは学校教育だけではなく、保護者の方や地域の方、皆で子どもを育てていくという意識を持って進めていく必要があると思

テーマ	参加者の質問・意見等（要旨）	市長の回答（要旨）
		う。【教育長】
(3) 都市づくり・災害対策・交通	・公園にベンチがあるとよいと思う。ベンチがあれば、高齢者が集まって話することができる。	
(1) 子ども・子育て・教育・文化	・情緒固定学級を設置してもらえてよかった。	

<当日のイベントの様子>



<発言内容を貼り出したホワイトボード>

